

科目名	歴史学特講Ⅰ	
担当者	田村 省三 / TAMURA, Shozo	
科目情報	人間文化<歴史地理> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	近代日本は、どのようにして始まったのか。近代とはどのような時代であったのか。現在数多くの研究者が多角的にこのテーマに取り組んでいる。一方、幕末の薩摩藩ではいち早く西欧の科学技術を受容し、製鉄・造船・紡績を中心とする「集成館事業」を推進し、日本の近代化のさきがけとなった。本講では「集成館事業」とその歴史的・文化的な背景や意味について学び、今日にのこされた近代化遺産についても学習する。
	到達目標	「集成館事業」の歴史的・文化的背景や内容、その意味を学び、日本の近代化に果たした役割を理解する。
授業計画	(1) 序論・世界と薩摩 (2) 植民地主義とアジア (3) 薩摩藩の蘭学受容 (4) 島津重豪と天保の財政改革 (5) 島津斉彬の近代化政策 (6) 鋳砲事業と砲台の建設 (7) 「昇平丸」と蒸気船「雲行丸」の建造 (8) 写真・ガラス・紡績事業 (9) 木村嘉平と近代活字 (10) 集成館事業を支えた人々ー蘭学者の系譜ー (11) 島津斉彬の死と薩英戦争 (12) 薩摩藩英国留学生とその後 (13) 薩摩の医学ー高木兼寛を中心としてー (14) 集成館と西南戦争 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・日本の近代史の流れを前もって学習しておくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・教科書を読み返して理解を深めること。
使用教材・参考文献	【教】松尾千歳「島津斉彬の集成館事業」尚古集成館 平成15年 【参】尚古集成館編「島津斉彬の挑戦」尚古集成館 平成15年ほか	
成績評価方法と基準	<基準> 「集成館事業」の概要と日本の近代史上の意義を理解したものは合格とします。 <方法> 受講態度と終了試験（レポート）によります。（受講態度40%、終了試験60%）	
備考		